埼玉丸山工務所からの月便り



ASJ 彩の国スタジオ

【生活・社会・安心の起点となる住まいを創造する企業】 株式会社 埼 玉 丸 山 工 務 所 TEL 048-729-8655



夏の疲れを回復するには、自律神経を整えることが重要です。 栄養バランスの取れた食事、十分な睡眠、適度な運動、 冷やしすぎに注意した入浴、そして生活リズムを整えることが有効です。



タンパク質

筋肉の成長を助け基礎代謝を 上げる

- 豚肉カツオ
- ●枝豆 など



ビタミンB群

疲労回復やエネルギーの代謝を 助ける

- まぐろ うなぎ
- ●豚肉 ●卵 など



アリシン

ビタミンB群の吸収 を助ける

クエン酸

疲労物質を体外へ 排出する

- レモン など

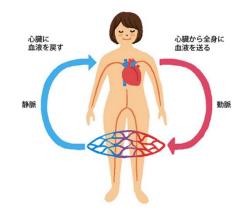
ムチン

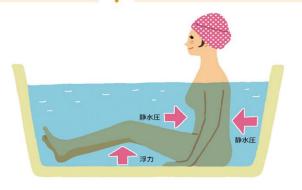
消化を促進し、胃粘膜 を保護する

- ●長いも など



静水圧作用で血流が良くなります。

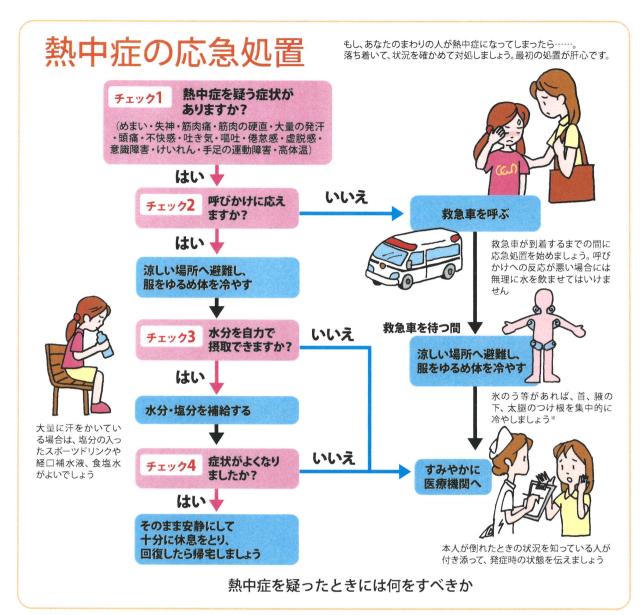








上記の QR コードで弊社ホームページをご覧ください。



*スポーツや激しい作業・労働等によって起きる労作性熱中症の場合は、全身を冷たい水に浸す等の冷却法も有効です。

コラム "どこを冷やすか?"

文中やイラストでも示しているように、体表近くに太い静脈がある場所を冷やすのが最も効果的です。なぜならそこは大量の血液がゆっくり体内に戻っていく場所だからです。具体的には、頚部の両側、腋の下、足の付け根の前面(鼠径部)等です。そこに保冷剤や氷枕(なければ自販機で買った冷えたペットボトルやかち割り氷)をタオルでくるんで当て、皮膚を通して静脈血を冷やし、結果として体内を冷やすことができます。冷やした水分(経口補水液)を摂らせることは、体内から体を冷やすとともに水分補給にもなり一石二鳥です。また、濡れタオルを体にあて、扇風機やうちわ等で風を当て、水を蒸発させ体と冷やす方法もあります。

熱が出た時に顔の額に市販のジェルタイプのシートを張っているお子さんをよく見かけますが、残念ながら体を冷やす効果はありませんので、熱中症の治療には効果はありません。